

編集後記

2022年2月24日に始まったロシア・ウクライナ間の戦争にも未だに終わりが見えない状況の中で昨年10月7日にはイスラエル・ハマス間に戦争が勃発し、多くの犠牲者が出ていることが報道されています。パレスチナ問題は歴史的な複雑さを抱えており、私のような素人が安易にコメントすることは難しいですが、ガザの惨状を見るたびに、一日でも早い平和回復を切に願うばかりです。こうした戦争の背後には、異なる価値観を受け入れられない狭量さが横たわっているように感じます。現在、東京大学では“Diversity and Inclusion (D&I)”を基本方針とし、異なる背景や価値観を尊重し、ともに協力して豊かな未来を築くことを目指しています。D&Iが実践される環境では、異なるバックグラウンドや立場をもつ人々が平等に扱われ、参加できる状況が生まれます。このような取り組みが、異なる価値観を有する人々をつなげ、わずかながらでも戦争の終結に寄与する力になるのではないかと思います。

今月号の特集は弘前大学の木村由佳先生のご立案による「膝蓋大腿関節障害の治療」です。膝蓋大腿関節は膝関節の伸展機構において極めて重要な役割を果たす関節ですが、本特集では膝蓋骨不安定症をはじめとした膝蓋大腿関節障害の病態と治療法について網羅されています。さて突然話は変わりますが、孫臏そんぴんという

人は中国戦国時代の齊の兵法家で『孫子の兵法』で有名な孫武の子孫であるとされており、漫画の『キングダム』にも登場します。孫臏は戦国時代に魏と齊が激突した馬陵の戦いで齊を勝利に導いたことで知られていますが、彼は若いころに友人である龐涓ほうけんに才能を妬まれて罠にかかり、「足斬りの刑（刖）^{げつ}」に処せられました。この「刖」とは古代中国の五刑の一つですが、実際は下肢切断ではなく、膝蓋骨を切除する刑だったそうです。孫臏の「臏」は本名ではなく膝蓋骨を表す文字であり、刖の別名でもあります。日本書紀にも「新羅の王を捕虜にして王の臏を抜いた（膝蓋骨を切除した）」というような記載があるので、日本でも行われていた刑罰のようです。ちなみに「刖」も同様に足斬りの刑を表しますが、これはアキレス腱を切断する刑だったようです。もちろんこのような刑罰（肉刑）は現在では行われていませんが、むち打ちのような身体刑は現在でもシンガポールやマレーシア、あるいは一部のイスラム国家には存在します。しかし身体刑のような「目には目を」的な発想が暴力の連鎖を生み、ひいては戦争へとつながるのかもしれない。

「膝蓋骨」からずいぶん話が飛躍してしまいましたが、本特集が皆様の膝蓋大腿関節障害に関する理解のお役に立てば幸いです。

（田中 栄）

「整形・災害外科」第67巻 第1号（1月号）

2024年1月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 2,970 円（本体 2,700 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 45,980 円（本体 41,800 円＋税 10%）

〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03 (3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03 (3813) 0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 (株) 文京メディカル TEL 03(3817)8036

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。